

CHANEL J12について

今ではシャネルの定番モデルとなっているJ12ですが、発売開始は2000年と比較的新しいモデルです。発売当初から人気は高く、そのデザインの高い完成度もあり現在でも大幅なデザインの刷新はされていません。またそのシンプルさから型番がわからない、お客様に対して何が違うのか説明が難しいなどのお声もあります。今回はこの時計の魅力とモデルについてご紹介したいと思います。

① J12とは？

J12はシャネルにとって、また時計界にとって挑戦的な時計でした。

シャネルは以前からブルミエールを代表するレディースウォッチに力を入れていましたが、J12は**シャネル初のメンズウォッチ**となりました。また当時、**時計業界ではマイナーであったセラミック素材を使用**し、それ以降多くのブランドがセラミック仕様のモデルを開発していきました。セラミック時計といえばJ12を思い浮かべる方も多いと思います。実は発売当時はカラーはブラックのみでしたが、次いでホワイト、グレー系、今年はブルーも加わってバリエーションが増えてきています。黒か白か？ J12を購入される時に迷われた方も多いと思いますので、ぜひ持ち込みがあった際は伺ってみてはいかがでしょうか。



J12 H5697 (38mm)

② 主要モデルの仕様

お持ち込みが多いモデルは33mmまたは38mmのモデルになります。今回はそれらの見分け方について簡単にご紹介します。

33mm アラビアインデックス・3針モデル

● 第1世代 ●

H0682



H0968



主な変更点

カレンダー内6,7の間の・(ドット)が無くなる、ベゼル淵の凹凸の数が増える、裏蓋の形状がコイン型に変更



● 第2世代 ●

H5695



H5698



主な変更点

クォーツからオートマティックに変更 ・ シースルーバックに変更
33mmモデルでは、第1.2世代までクォーツムーブメントだが、現行モデルでオートマティックになり、クォーツは販売終了になった。(19mm、29mmにはクォーツ有り)



● 第3世代 2022年～ 現行モデル ●

H5696



H5699



38mm アラビアインデックス・3針モデル

● 第1世代 ●

H0685



H0970



主な変更点

シースルーバックに変更 ベゼル淵の凹凸の数が増える



● 第2世代 ●

H5697



H5700



また第1世代モデルはマイナーチェンジにより旧型新型に分かれます。

① バックル

旧型



新型



一番わかりやすく、また金額に影響が出るポイントがバックルです。旧型モデルだと板部分の破損が多かったため、板に負担がかかりづらい設計に変わりました。



知識

新型バックルだとサイズもわかる！

中央の板の部分に注目してみてください。33mmは段差がつけられていますが、38mmにはそれがありません。

33mm



38mm



※ この違いは現行のモデルでも共通になります。

② 針の色

旧型



新型



写真での判別はかなり難しいです。アラビアインデックスの場合、旧型は白色ですが新型はシルバーに変更されています。(他のインデックスだと例外あり)

③ ダイアルデザイン

旧型



新型



新型



オレンジ枠内の文字盤外周のデザインが変更されています。旧型は平たいデザインですが、新型はロレックスのルーレット刻印のように外周がせり上がっています。

※上記3点のマイナーチェンジは別なタイミングで行われているため、必ずしもすべてのポイントが新型になるわけではありません。

やや細かい話になってしまいましたが、このうち査定金額に影響するものは、**サイズ・世代・バックルの年代**になります。撮影の際にも上記のポイントがわかるよう撮っていただきますと迅速な対応ができますので、ご協力お願いいたします！

気になること・わからないことありましたら
お気軽にブランド室までお問い合わせください。